

2011年10月3日

熱衝撃に強い特定防火設備・防火設備用ガラス 「ファイアライト」の新たなタイプを開発

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：有岡雅行）は、このほど特定防火設備・防火設備用ガラス「ファイアライト」(※)の新たなラインアップとして、「ファイアライトセーフティ」、「ファイアライト セーフティスリム」、「ファイアライト複層」の3タイプを開発しました。

※「ファイアライト」は、実火災テストでも割れない、高い防火性能と耐熱衝撃性を持ち、ガラス素材で初めて「特定防火設備」として認定を受けた、超耐熱結晶化ガラスです。

<1> 開発の背景

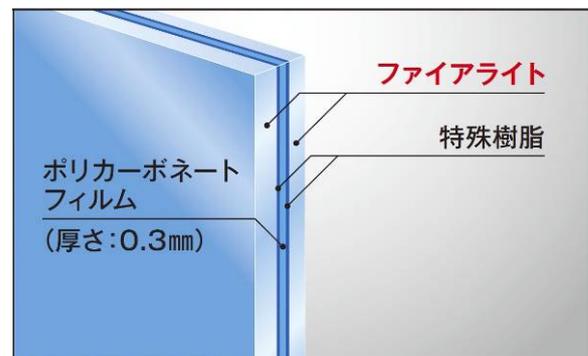
今日、市場では、防火用ガラスを用いたサッシに対して、破損事故防止や防火対策として「安全性」や「断熱性」が強く求められるようになっていきます。不特定多数の人々が集まる公共空間には、万が一事故が発生した場合を考え、確かな「安全性」が、また日々を快適に過ごす住空間には、省エネ対策として高い「断熱性」がガラスに求められます。

当社がこのたび開発した3タイプは、従来の優れた防火性能に加え、「安全性」と「断熱性」を持つ高機能な新製品です。

<2> 商品の概要

1) ファイアライト セーフティ

- ・ファイアライトの最大のメリットである“急熱・急冷で割れない”「耐熱衝撃性」に、高い「衝撃安全性」が新機能として加わった防火用ガラスで、日常と火災時の安全を守ります。
- ・学校や病院などの「公共施設」に適しています。
- ・2枚のファイアライトを、特殊樹脂を用いてポリカーボネートフィルムと貼り合わせた構造で、色の調整も可能です。



<主な仕様>

特定防火設備（1時間防火）の試験合格済み（認定番号申請中）。

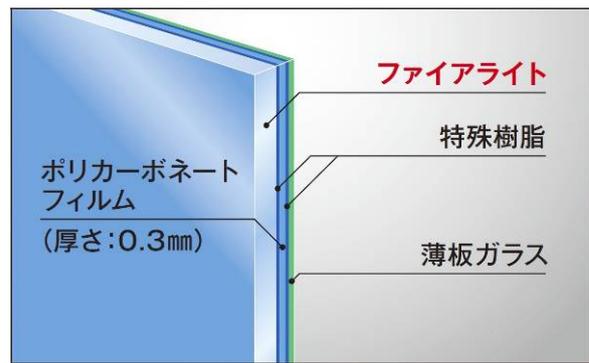
最大サイズ：1,200×2,775 mm

2) ファイアライト セーフティスリム

- ・自然な色合いで、薄くて軽量。

建具の付属金物への負担も小さいうえ、金属網が無いので、視界を確保できる「住宅」に適した防火用ガラスです。

- ・ファイアライトと薄板ガラスを、特殊樹脂を用いてポリカーボネートフィルムと貼り合わせた構造で、5mm厚の窓板ガラスとほぼ同じ重さ（12kg/m²）ながら、防火・安全・防犯の3つの機能を有します。



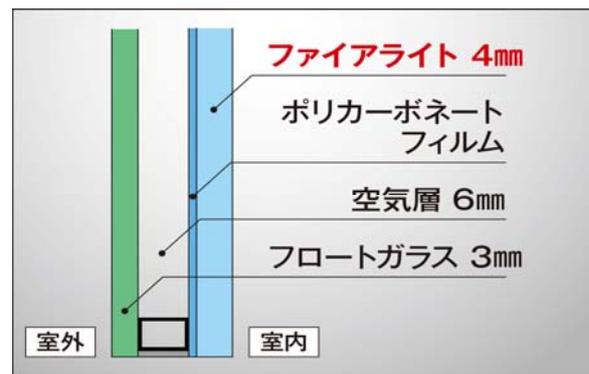
<主な仕様>

特定防火設備（1時間防火）認定品（認定番号EA-0345）。

最大サイズ：1,200×2,400mm

3) ファイアライト 複層

- ・住宅用サッシに期待される断熱効果を、ファイアライトとフロートガラス（窓板ガラス）を複層化することで実現しました。
- ・ポリカーボネートフィルムを貼着したファイアライトと空気層、フロートガラスで構成された複層ガラスです。防火・安全・防犯機能に加え、断熱効果を発揮します。



<主な仕様>

防火設備（20分防火 ECクラス）の試験合格済み。

最大サイズ：1,200×1,800mm

<3> 販売見込

2012年度に10億円の販売を見込んでいます。

<4> 発売

2012年2月1日より、日本電気硝子(株)建材代理店「電気硝子建材株式会社」が販売を開始。

※ 上記商品に関するお問い合わせ先

電気硝子建材株式会社（日本電気硝子(株)建材代理店）

管理部：井上

電話 03-3632-7721

※ 記事掲載に関するお問い合わせ先

日本電気硝子株式会社

総務部：千坂・長谷川

電話 077-537-1861